

琵琶湖疏水

琵琶湖疏水は平成19年11月 経済産業省から蹴上インクライン、南禅寺水路閣などとともに、『近代化産業遺産』に認定されました。

琵琶湖疏水は、東京遷都によって急激にさびれていった京都を振興するために計画され、明治23年に第1疏水、明治45年に第2疏水が完成しました。

琵琶湖疏水は、1日に約200万m³の水を琵琶湖から京都へと送り続けていますが、その用途は時代とともに大きく変化してきました。現在は、私たちの水道用として一日に約85万m³の原水が確保されているほか、発電、かんがい、防火および工業など多目的かつ効率的に利用されています。さらに、南禅寺水路閣や哲学の道といった疏水分線や、深草・墨染を経て濠川・宇治川へと続く疏水路に、琵琶湖からの水を絶えることなく流し続けることで、皆さまに親しまれる水辺空間を創出しています。

平成8年には、蹴上インクライン、南禅寺水路閣などの12施設が国の史跡に指定され、当時の最新技術を取り入れた疏水は、今では歴史的な風土を持つ京都の景観に溶け込み、市民の皆さまや観光客の方がたくさん訪れる憩いの場のひとつとなっています。



岡崎界限



蹴上インクライン



第1 竖坑



建設当時の様子



皆さまと一緒に取り組んでいただきたいこと

京都のまちは、琵琶湖から淀川、大阪湾、そして瀬戸内海に至る流れの中流域に位置しています。そのため、下流域にくらす約1,100万人の人たちの水源を守るために、市内河川はもとより、流域全体として水環境の保全に努めていく役割を担っています。

水環境の保全のためには、皆さまのご協力が欠かせません。私たちと一緒に、以下のことに取り組んでいただきますよう、お願いします。

疏水を守りましょう！

琵琶湖疏水は京都市民の『生命（いのち）の水』を運んでくれる大切な水路です。また、美しい水辺環境を形成する親水空間として、市民の皆さまや国内外からの観光客の方がたくさん訪れる憩いの場にもなっています。今日の琵琶湖疏水があることに感謝して大切に守り、未来へと引き継いでいきたいものです。



水を大切にしましょう！

『水』は貴重な資源です。雨水の貯留施設や浸透施設をご利用いただくなど、水資源を大切に使うことで、環境保全に積極的に取り組みましょう。

貯留した雨水は、お庭の草花の水やりや、道路への打ち水に利用できます。



台所で油などを流さないで！

下水道に油やゴミ、薬品などを流すと、悪臭や詰まりの原因になるだけでなく、下流水域の水環境を守ることが難しくなります。

ディスポーザー（台所のゴミを碎いて下水道に流し込む機器）は使用しないでください（下水道管理者が認めた一部のシステムは設置可能です）。決められたことを守って、下水道を正しくお使いください。



道路にゴミを捨てないで！

道路にゴミやタバコの吸殻を捨てると、降雨時に下水道に流入し、河川に流れ出してしまうます。またゴミなどが雨水ますに詰まると、降雨時に水があふれてしまうことがあります。

ゴミを捨てない、さらには、日常の雨水ますの清掃にもご協力をお願いします。



このビジョンに関するご意見・お問い合わせは、ホームページのご意見メールまたは以下まで

京都市上下水道局	総務部総務課	Tel 075-672-7709	Fax 075-682-2711
	水道部企画調整課	Tel 075-672-7743	Fax 075-682-2274
	下水道部計画課	Tel 075-672-7839	Fax 075-682-2719

上下水道局ホームページ <http://www.city.kyoto.lg.jp/suido/>

京都市上下水道局

検索



京(みやこ)の水ビジョン

平成20年1月発行

京都市上下水道局

〒601-8004 京都市南区東九条東山王町12番地

<http://www.city.kyoto.lg.jp/suido/>



本冊子は再生紙を使用し、環境にやさしい
植物大豆油インキで印刷しています。